サハリン交流・多文化共生

管内では稚内市と猿払村が、サハリン州の３市１村と姉妹友好提携を締結しており、民間団体を含め、文化やスポーツ、観光などの様々な分野での交流が行われてきました。
現在、ウクライナ情勢を踏まえ、ロシアとの交流事業等は休止しているため、これまで実施してきた取組を掲載しています。
また、酪農、漁業、観光業等の基幹産業や介護分野において担い手不足が深刻化しており、技能実習や特定技能等の外国人材が重要な担い手となっています。

■サハリン交流　これまでの取組

交流事業

令和元年度（2019年度）から令和３年度（2021）年度には、振興局独自事業として稚内北星学園大学（(現)育英館大学）等の学生とサハリン国立総合大学の学生との交流事業を実施しました。
※稚内とサハリン州コルサコフ間では、平成30年度（2018年度）まで旅客船が運航されていましたが、令和元年度（2019年度）からは運航休止となっています。

普及啓発活動

平成３０年度（2018年度）には、若い世代をはじめとする宗谷管内の方々にサハリンについて関心・理解を深めてもらうため、漫画小冊子『となりのサハリン』を作成し、管内の小中高校等に配付しました。

姉妹友好都市提携状況

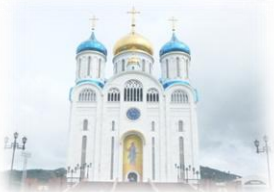
ロシア連邦サハリン州との提携

市町村名	提携先（提携年月日）
稚内市	ネベリスク市（1972.9.8）
	コルサコフ市（1991.7.2）
	ユジノサハリンスク市（2001.9.9）
猿払村	オジョールスキィ村（1990.12.25）

（参考）ロシア連邦サハリン州

古くからアイヌの人たちや松前藩を中心に交易が行われ日本とゆかりの深いサハリン州は、宗谷岬からわずか43kmに位置するサハリン島（南北距離950km）を中心とする州です。面積は北海道とほぼ同じ8.7万㎢、人口では50万人弱と北海道の約1/10です。

郷土博物館


ロシア正教会

■多文化共生

管内市町村では、日本語教室（稚内市、猿払村）や行事が開催されるなど、地域住民との交流が進められており、近年は国際交流員（CIR）を配置するところが増えています。
振興局では、宗谷地域が外国人材に選ばれる地域となるよう、安全・安心な暮らしの確保など、外国人にも暮らしやすい多文化共生の実現に向けた環境の整備に取り組んでいます。

管内の外国籍住民の国籍(上位)

①	ベトナム	681
②	インドネシア	311
③	中国	213
④	タイ	141
⑤	ミャンマー	68

（人）

（R7.12 宗谷総合振興局地域創生部地域政策課調べ）

管内の外国籍住民数の推移

	R元.3	R7.12
外国籍住民（人）	896	1,560
対人口比　（%）	1.4	2.8
総人口　　（人）	61,985	55,110

（住民基本台帳：令和7年12月現在）

国際交流員(CIR)の配置状況

稚内市（ベトナム　1名）
猿払村（ベトナム　2名）
浜頓別町（ベトナム、タイ、ミャンマー　各1名）
（宗谷総合振興局地域創生部地域政策課調べ：R7年度現在）

日本語教室(稚内市)

タイの正月を祝う会(浜頓別町)